

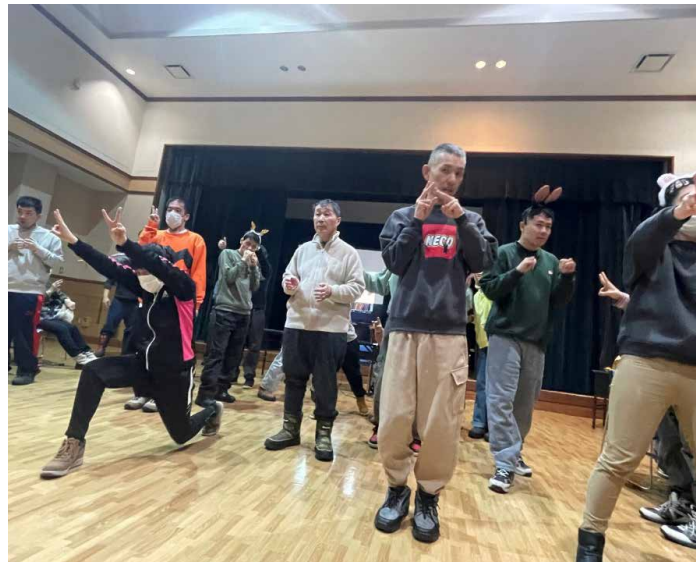
一隅を照らす

社会福祉法人
北光福祉会
会報

2026. 冬
第13号



お母さん手製の仮装でカラオケを熱唱（向陽園）



先生についてリズムダンスをしています。（センターもね）



安国秋祭り。神主さんのお祓いをうけました。（ひまわり学園）



よいしょ～よいしょ～お餅つき（北光学園）

一隅を照らす 第13号

2026・冬 主な内容

- 令和八年への祈り 湯浅 民子…………… P 2
- 優しい記憶 ひまわり学園初めての同窓会
宮本 芳…………… P 4
- 久しぶりの仲間にあえて 佐々木啓之…………… P 5
- 大荒れの北光祭り 大井 烈…………… P 6
- 児童通園事業所 それぞれの祭り 谷千洋…………… P 6
- くれよんまつり めるくるまつり
ぱすてるまつり

- 午年の人 集合…………… P 8
- 遊友やすくに ピザづくりに挑戦 菊地里奈 …… P 9
- ご芳志の御礼…………… P10
- お薦めの本 玉三郎の「風を得て」新山史賢 …… P12
- 後援会ご協力のお願い…………… P12
- 向陽園利用者の作品展…………… P12
- あとがき…………… P12

※「連載コラム」は休ませていただきます。

令和八年への祈り

社会福祉法人 北光福祉会

理事長 湯浅 民子



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

お陰さまで、子どもたち、利用者さんたちはつつがなく新年を迎えることができました。昨年一年間、さまざまな形でご支援やご協力くださった皆様のお力添えのおかげと感謝しております。

本年もまたどうかよろしくお願ひいたします。

令和八年の今年は、何となく良い年になるような気がしています。それは、「八」という縁起の良い数字の年だからです。八は、下に向かって広がるいわゆる「末広がり」になっていきます。未来に向かって発展し、繁栄や幸運が続いていくことを意味しています。

そう教えてくれたのは、舅の湯浅文治でした。明治生まれの気骨と頑固さを持ち合わせたいかつい人が、数字の形にそんな期待を寄せられているのが、当時まだ二十代前半

だった私には、根拠のないこじつけとも感じたものでした。

しかし、半世紀以上の歳月が流れた今になって私は、こうして思い出し、書いているのです。

そしてあれは、舅の「祈り」でもあったのだと気付かされています。昭和二十七年、戦災孤児のための養護施設北光学園を創設し、子どもたちを守らなければならなかった舅には、多くの苦難があり、思うに任せない現実への不安や無力感も大きかったと思われま

す。そうした中で、些細な事がらにも好転してゆくための意味を見だし、それを「祈り」として事業を進めてきたのだと思います。

あれから、長い年月が経ち、多くのことが、考えられないような進化を遂げ、変化しました。

平和がもたらされ、豊かになって生活は便利になり、医療や福祉は大きく進歩しました。

しかし、だからといって問題がなくなり、未来への不安がないかと言えば、決してそうだとは言いきれませ

ん。平和、地球環境、文化、豊かさ、生きるために必要なこれらのいずれもの先行きが不透明で、脅かされていると言つても過言ではないから

です。その中で、人の幸福を護る福祉だけが例外とは言えないのです。

あるいは「発展した」と言えるかも知れない当法人の状況も、多くの課題を抱えていて、到達点などとは無いのだという、あきらめに似た思いすらがわいています。

八の数字に、「祈り」を感じていた舅の思いが理解できる気がして、今、同じく口にしてい

*

るので、到達点を求めて、がむしゃらに進んだ日々がありました。

ひまわり学園が、電話中継所の建物を再利用して開園されたのは昭和四十四年のことでした。頑丈なだけの鉄筋の建物を利用した園舎は、お世辞にも住心地がいいとは言えず、子どもたちには申し訳ないものでした。

明るく、温かく、安心してくつろげる園舎を……、それは初代園長である夫の湯浅正邦や職員の悲願でありました。

やがて、その機会がめぐってきま

す。子どもたちが大人になってから暮らす成人施設を建設することになったのです。

と言つても、そのための資金があるわけではありません。先ずはそこからのスタートでした。

保護者と一緒に「ひまわりの里建設促進会」という後援会を立ち上げ、寄付帳を持つてご近所や親戚を回つたり、絵はがきを売つて歩いたり、みんな一丸となって資金造成に努めました。地元新聞がそのことを記事に取り上げてくれ、地元の木工場から大口の寄付が寄せられたりして、自己資金に足るだけの浄財が集まりました。

しかし、それらの無理がたたつて、正邦園長は三カ月ほど、病院入院することになりました。施設整備をする園長の寿命が縮まると言われていた時代でした。

入院という命や生活を管理される生活は、限りなく施設の生活に似ています。その経験が、正邦園

長の施設建設構想に大きな変化を与え、途中から大きな設計変更がなされることになりました。

構想をこんな風に述べています。

— 十人毎の5つのユニットを作り、各々を廊下でつなげる。廊下は戸外のイメージに近づけるため、天井までガラス張りにする。それぞれのユニットには、トイレ、洗面所、茶の間代わりの居間に台所もつけて、そこで三度の食事をする。玄関もつけて、自由に出入りできるようにする。—

そのとおりの、当時としては冒険に近かった園舎が昭和五十三年に完成しました。

けれど私をはじめ周囲は大きな危惧を感じていました。死角が多くて、事故や無断外出が多発するのではないかと…。ところが、狭いながらも小さな台所のついた居間でくつろぐ入所者の姿を見て驚かされました。自宅に近い環境に、安心するものがあつたのでしよう。

それが今の向陽園の園舎です。

それから十数年後にひまわり学園が、さらに十数年後に北光学園が改築されたのですが、どちらも向陽園を模したユニット型の園舎と

して建てられました。

冒険に近かったユニット型の園舎は現在、生活単位の小規模化という言葉で推奨されています。

*

あの当時私たちは、住み心地の良い快適な園舎が確保できれば、それで万全と信じていました。

けれども、そのとおりにはありませんでした。

平成に入り、入所施設から地域での普通の生活へと福祉のありようが大きく転換したのです。

グループホームの開設や、その人たちの日中活動を支えるデイサービス事業所の立ち上げに追われることになりました。それら地域生活に使用する建物は、入所施設のように厳密な基準がないので、民家や、大きな建物を転用しながら進めることになりました。

やがて、どんな建物も、時間の経過と共に劣化し、老朽化して耐用年数に至るということを知ることになりました。

多くの人たちの期待の中で誕生し、注目を集めて輝いていた向陽園園舎の上にも、五十年に近い歳月

が流れ、随分と傷みが進んでいたのです。

建物は、鉄骨ブロック造で、壁は当時流行ったセラミックブロックという陶磁器であるため、色あせはしません。しかし、防寒や断熱の面では難があり、廊下に多用しているガラスのせいもあり、夏の暑さや冬の寒さをもろに伝えます。

農地を転用した広い敷地に建てられた園舎は、ユニット型であるため間取り的には古くはなく、何度かの改修を繰り返して、大切に使用してきたため、一見するとそれほど傷みは感じないのです。

しかし、表には現れない浄化槽や、地下の給排水などは耐用年数に来ており、早急に改善作業を進めなければならぬ状態に至っているのです。

地域の就労や生活介護の事業所の建物も、当初は人数も少なかったため、間に合わせの狭い場所で済んでいたのですが、それぞれに利用者が増加し、活動の環境や、駐車場などに不便を来すようになり、がまんを重ねながら使用しています。こちらの環境の改善をも早急に図らなければなりません。

それやこれや、法人規模が大きくなった分、課題もまた大きくなって立ちはだかっているのです。

*

本年度から法人に施設整備検討委員会という特別委員会を立ち上げ、これらの実現に向けた中・長期計画の検討を開始しています。

事業の停滞は許されず、将来にわたって継続させて行くのが社会福祉法人としての使命だからです。

あたかも建築費の高騰、人口減人材の不足など先行きの見えない厳しい時代を迎えており、こうした中で、事業や建物のあり方を模索し、それを実現させてゆくのは至難のことのように感じます。

法人の力だけでこれらの事業を進めてゆくのはもはや困難で、行政や、地元遠軽町などのお力添えをいただかねば実現させることは不可能なのです。

多くのお力を借りながら、これらの計画を少しでも推進して行ける年にしたいと念じております。

そう、「八」という末広りの数字に、祈りを込めながら…。どうかよろしく願いいたします。(丁)

優しい追憶

ひまわり学園初めての同窓会

ひまわり学園 宮本 芳

昨年十月三十一日に、『ひまわり学園卒園生の集い』を初めて開催しました。いわゆる同窓会です。

きっかけは、退所して間もない卒園生、Hさんからの電話でした。

「ひまわり学園に行きたいです。いつ行っても良いですか?」

「職員さんがきてください」。

しかし、当時はコロナが流行り、外部からの受け入れに慎重にならざるを得ない状況で、すぐには叶いませんでした。コロナ終息後も何度も電話をくれていましたが、なかなか実現させることは出来ませんでした。

ひまわり学園は、児童期の大半を過ごした『子ども』達にとっては第二の実家のような場所になっています。

ですが、遠方だったり、金銭的な理由だったりとさまざまな理由で来園や訪問が出来ないこともあり、もどかしさを感じていました。

そんな折に、湯浅園長から「個々に回ると時間がかかるので、同窓会的なものを作りましょう」といった提案がありました。良いきっかけになると職員は賛同し、準備を始めました。

しかしそれが大変。当時の子ども達の所在を確認して、関係機関にも連絡ホテルとのやりとり等々。何しろやったことが無いので、四苦八苦しながら何度も会議を開催、話し合いを重ねました。そして、卒園して十年以内の方たちに限定して開催の案内を出し、参加者を募ることになりました。

そんな甲斐もあつてか、三千名ほどの方が申込みをしてくれました。近くて町内、遠いところは千葉県から参加してくれた人もいました。

当日は、先ずひまわり学園体育館に集い、自己紹介と近況報告をしてお互いを知る時間を持ちました。中には、結婚して子の親となり、育てている方や、仕事に励んでいる方もいました。

在園当時は落ち着かず、手を焼かされた子たちもいましたが、どの人もみんな立派に成長して社会で生活している姿を見せてくれました。

そのあとは園内を見学し、生田原にあるホテルノースキングに移動し、会食を楽しみました。成人している方々はお酒も飲みます。とある一人が、「宮本さん、約束が叶ったね」と言います。何だろうと考えて、『いつか大人になったらお酒を一緒に飲む』

と話していたことを思い出しました。もう十年以上前の話なのに、その人は、私との会話を覚えていたのです。驚きと嬉しさ、そして改めて責任を感じました。子どもの頃の大人からの言葉は良くも悪くも残り続ける。子どもと共に過ごすとは、子どもにとってどういったことかを、つねに心に留めておかなければ、と身の引き締まるような思いになりました。卒園生との会話で、そのようなことを感じ、教えられるとは思っていませんでしたので、その人に感謝をしています。

会食ではビンゴ大会や、卒園生によるスピーチなどもあり、楽しい時間はあつという間に過ぎて、気づけば終わりの時間になりました。

しかし、名残り惜しさもあり、皆それぞれにすぐには解散せずに、しばらく話し続けます。

徐々に解散しましたが、十名ほどホテルに宿泊する人たちがいました。

私と柏葉歩未支援課長も一緒にホテルに泊まりました。

夜はまだ続きます。

「一緒に温泉に行きませんか」「飲み物おごらせてください」

「前みたいにカードゲームやろう」

「仕事について相談のってほしい」卒園生からはそんなたくさんの交流のお誘いがあり、私たちなりの二次会も楽しく過ごすことが出来ました。

なかには、ルームキーを自室に入れたままロックされてしまったけど、自分でフロントに伝えて対応してもらったと報告してくれる子もいました。報告に来たときの表情は自信に溢れ、達成感を感じている表情でした。

ひまわり学園に在園中は、初めての人や環境があまり得意ではなかった人でした。「素敵な大人になったね」と褒めると、少し照れた様子で「うん」と返事をしてくれました。

今回の会に参加できなかった人でも、時折、学園に訪ねてきて近況を話してくれます。定期的に園を訪れ、学園行事の手伝いもしてくれる人もいます。

どの人も良い顔で訪ねてくれてるのは、私たちにとってとても嬉しいことです。どんなに大人になっても私たちに



かつての同じ寮の仲間たち!

とって『子』であったことに変わりない大切な存在であるからです。

Hさんの電話から始まった『ひまわり学園卒園生の集い』は、無事成功裏に終わりを迎えることが出来ました。

Hさんは残念ながら参加出来ませんでした。後日、ひまわり学園のSNSに「懐かしい。」とコメントが入りながら、次の開催の在り方をみんなで考えていきます。



参加者、全員集合

久しぶりの仲間に会えて

卒園生 佐々木 啓之

早いもので、私がひまわり学園を卒業してから、もうすぐ丸6年が経とうとしています。皆様いかがお過ごしでしょうか。私自身の体感としては、ついこの間卒業したばかりのように感じていました。気がつけば6年もの月日が経とうとしていることに驚きと少しの感慨を覚えます。

卒園してからの年月の中で、私は成人を迎え、社会人としての責任を感じながら日々を過ごすようになりました。現在は地元の電器店で働いていて、毎日が忙しくも充実した時間を過ごすことができています。

先日、ひまわり学園主催の「卒園生の集い」に参加させていただき、久しぶりに学園の仲間たちと再会することができました。

再会した仲間たちは、日日の仕事に励んでいる方や、ご結婚をされて家庭を築いている方、子どもを育てている方、そして管理職となって部門をまとめる立場になっている方など、私が卒業してからの6年という時の流れの中で立派に成長した姿があり、心から感動しました。特に、かつて同じ寮で共に過ごした仲

間のひとりが、道の駅などでも販売されている納豆の製造に携わっているという話を聞いた時は、あの頃からどれだけ頑張ってきたのかと思い、驚いたとともに、楽しそうに仕事の話をしている姿を見て、とても立派に成長されたのだなと感慨深くなりました。

それでも、笑顔や仕草の端々に、かつて一緒に過ごした頃の面影が残っていて、まるであの頃に戻ったかのような懐かしさに包まれました。

会場が学園からホテルに移り、美味しい食事や催し物を楽しみながら、かつての仲間たちと近況報告をしたり、当時の思い出話を花を咲かせたりと、心温まる楽しい時間を過ごすことができました。

また、学園でお世話になった職員の皆様にもお会いすることができ、当時の思い出や、現在の状況をゆつくりとお話することができたのも嬉しかったです。こうして再び色々な方々と再会できたのも、学園の皆様がこのような会を開催してくださったおかげだと深く感謝しています。

私自身もこれから先、職場でさらに責任のある立場に進んでいく段階にいます。新しい業務の習得や取引先との営業活動など、まだ経験のないことも多

く、きっと大変なことが待っているだろうと感じています。

しかし、今回の卒園生の集いで再会することができた懐かしい仲間たちの活躍に触れて、大きな刺激と勇気をもたらしました。自分も仲間たちに負けないよう、さらに高みを目指して頑張っていこうと決意を新たにしています。

最後に、このような素敵な会を開いてくださったひまわり学園の皆様、改めて心より感謝を申し上げます。

そして、卒園生の皆さんがこれからもそれぞれの場所で輝き続けられることを祈っています。

次に卒園生の集いが開催される際には、また皆さんと笑顔で元気に再会できることを今から楽しみにしています。



佐々木啓之くん、がんばっています。

大荒れの北光祭り

生活指導主任 大井 烈

九月十三日、北光祭りを無事開催いたしました。

朝から天候に恵まれ準備を開始。子ども達、職員総出でテント張りや、テーブルの設置、椅子の設置など行いました。また、食事の出店や、くじ引きなどの出店もある為、その準備も行いました。子ども達で組織する生徒会も当日のイベントの打ち合わせを行いました。昼近くになり、徐々に招待した皆様が来場してきました。

いよいよ北光祭りの開催です。出店に多くのお客様が並び、それを見た子ども達が「いらっしゃいませー」と大きな声で呼び込む。イベントでは、お客様を対象とした抽選会や、クイズで大賑わい。活気あるお祭りの雰囲気です。時間が過ぎていきました。

ところが、次第に雲行きが怪しくなり、雨こそ降らずとも強風に煽られ、社会福祉協議会さんよりお借りしたテントが浮き上がり飛んでしまいそうになるハプニングが発生。その時、子ども達や、職員、お客様が瞬時に対応し支柱を押さえたり、急遽テントに重しを追加したり、絶妙な連携を各所で披露していました。そのお陰もあり、参加者

全員で踊る最後のよさこい演舞もぴったりで大団円を迎えました。

当日ご参加頂いたご招待客の皆様、JALの皆様、ご協力頂いた皆様、学園の子ども達、全ての方々に感謝を申し上げます。ありがとうございます。来年は是非微風でお願いしたい所です。



いらっしゃいませ！美味しいですよ。



よさこい演舞

児童通園事業所 それぞれの祭り

児童通園事業は、幼児を対象にした「児童発達支援」と、学童を対象にした「放課後等デイサービス」があり、現在遠軽町、湧別町、佐呂間町（学童のみ）でそれぞれ実施しています。

送迎サービスも行っており、通園するのはご本人のみです。

このため、年に一回、事業所ごとに「おまつり」と名付けたご家族参加型の行事を行っています。

これまでは、それぞれに行っていましたが、今年はいずれの職員が協力し合って各事業所の実施の企画や準備に当たり、当日は、法人内の職員やボランティアの力を借りて、より中身を充実させて行うこととしました。

くれよんまつりとは、戸外で、めるくるは、町の町民センターのホールをお借りして行われました。

いずれも気持ちの良い秋晴れに恵まれ、当日は、日ごろお会いすることのない、お父さんやごきょうだいなどのご家族が参加し、にぎやかな楽しいお祭りとして、実施することができました。また、事業所内で日ごろの活動の状況なども紹介もされました。

くれよんまつり

今年初めて、児童デイサービス事業所のある安国、佐呂間、湧別の三箇所、お祭りを開催することになり、三事業所の職員が一致団結し、計画と準備を行いました。

トップバッターは、安国にある、くれよんです。

九月二十日、ひまわり学園分校のグラウンドにて開催しました。当日は猛暑も遠ざかり、さわやかな天気にも恵まれ、絶好のお祭り日和でした。

たくさんのお父さんと保護者、きょうだいやご家族が次々に集まり、グラウンドは大盛り上がり。



お父さんと一緒にねらいを定めて…

特に人を集めたのは、ゲームコーナーでした。ポッチャやストラックアウト、スマートフォンに射的等々。何度も何度も列に並んで、挑戦する子どもたちの姿に、私たち職員は準備の苦勞が吹っ飛んでいった瞬間でした。

外で開催したことでお祭りの臨場感も増し、参加した皆さんの気持ちを盛り上げることができました。トップバッターということで他事業所よりも準備に時間がかかったくれよん職員の皆さんには頭が上がりません…。



おたまを使ってお菓子すくい

めるくるまつり

佐呂間のめるくるまつりは、十一月二十二日に開催されました。例年、くれよんと合同でしたが、初めて事業所のある佐呂間町で開催をしました。

開催にあたって町の協力もあり、町民センターという広い場所をお借りすることができました。当日は職員総出で、飲み物や食べ物の屋台、遊びブースを用意、朝から一生懸命、準備をしてくれた職員の努力の甲斐あって、どれも大好評でした。

子どもたちの日頃の様子をスライドで流したことで、ご家族の皆さんに日頃の様子を知っていただくことが出来ました。そしてこの日盛り上がったのは、職員の伊藤さんが提供してくれた世界の楽器体験コーナーでした。見たことも触ったこともない楽器たちに、みんなは大興奮！児童だけでなく保護者の皆さんも楽器に触れ、一緒に楽しんでいただくことができました。世界の楽器に触れられるお祭り！みなさん興味がわきませんか？



初めて見る楽器、興味津々



みんなでジュースを飲みながら ハイチース！

ぱすてるまつり

湧別のぱすてるまつりは、十月四日に行われました。この日も好天で、最高のおまつり日和になりました。

ぱすてるの園庭と事業所内で行われ当日は、子どもたち、保護者、きょうだいなどのご家族、約100人が集まりました。

湧別町社会福祉協議会が、キッチンカーで、カレーや焼きそば、アイスを提供してくださいました。お祭りだけでなく食事も楽しめたことで、ご家族みんなが楽しめるお祭りになったことは間違いありません。ちなみに湧別町社会福祉協議会は、毎年、無料でカレーを提

供して下さっています。これを楽しみにしている参加者の皆さん今年のカレーの味はどうでしたか？

私がぱすてるに異動してから初めてとなる園庭も利用してのお祭り開催でした。お天気になったのは、日ごろ子どもたちが一生懸命活動や学習を取り組んでくれているからこそその結果だと思えます。みんな、ありがとう！

同じお祭りでも、三カ所それぞれ特色のあるお祭り、それぞれの良さや色が出ていますよね。来年は、皆さんもぜひ見に来て下さい！

(文責 谷 千洋)



ひもくじ(宝びき)、何が当たるかな？

午年の人 集合

北光学園の年男

高谷 碧翔 今年の抱負は、新しいことに挑戦することです。今年も、今まで自分がやったことが無い事柄に率先的に取り組んでいき、視野を広げていくことや、スキルアップに繋げていきます。



ひまわり学園の年男・年女

森谷 心太郎 四月から6年生です。12歳。元気いっぱいたくさんの方のことを学んで成長できると良いネ!!。

伊藤 静華 ひまわり学園に就職して4年目。今年は今まで以上に仕事への責任感や子どもたちへの思いやりの気持ちを大切にしながら、成長へ繋がられる支援を行っていききたいと思います。



同じ育ち寮です！

向陽園の年男・年女

島田 和浩

小原 貴志

途中 真弓

3人とも今年も健康で、日々楽しく元気に過ごせますように!!



小田桐 せい子 午年の最年長。生涯現役。午年の今年はいろいろと飛越(挑戦)する。馬だけにね。



平井 香里(前列右)

今年も夫婦そろって、年男・年女なので良い1年になるよう駆けぬけます!

平井 健人(後列中央)

36歳になり、勤務年数も十年を超えたので、向陽園の駿馬となれるように頑張るぞ!

橋本 佳奈(前列左)

○回目の年女…。今年自分の体を大事にしながらも、仕事にプライベートに充実した1年になるように過ごしていきます!

亀屋 奈月(後列右)

穏やかに心身の健康を大切にこの1年を過ごしていきたいです!

斉藤 早苗(後列左)

笑顔を決やさず、成長できる年になりたいと思います!



ゆめいくの年男

嶋田 一広 グループホーム・コーポ南ヶ丘で世話人として働かせていただいて8年が経ちました。

障害者福祉の仕事は初めてでしたので、最初は利用者との接し方に苦労しました。グループホームの世話人として障害のある皆さんの日々の生活をより豊かで安心できるものにするため、新たな気持ちで業務に取り組んでいきたいと考えています。



燦ホームの年男

浅野 史晃 センターもねでサービス管理責任者をしています。

今年自分自身の挑戦やスキルアップの年にする事と、家族や趣味のための時間を大切にする事を目標にして、健康で充実した1年になるよう、頑張りたいと思います。



遊友やすくに

ピザづくりに挑戦

遊友えんがる 菊地 里奈

急に飛び込んできた原稿の依頼。しかも日にちがない。文章は得意じゃないし、出来上がって何回見直しても、誤字脱字、誤解を招く言い回しなど、これでもかというほどボロボロと出てくる。職員室で目をシパシパさせてこれを打っていると、利用者がお茶を持ってきてくれる。しかも飲んだかどうかの確認までしてくれる。おかげで水分には苦勞しない。いつもとてもありがたい。それが遊友やすくに。

そんなやすくにの環境としては、ご存じのとおり、元豚舎という異例の過去を持つ。それならばやりたい放題というポジティブ思考で色々成り立っていたりする。利用者も職員もなぜか壁や床にやたらと紙を貼りがるし、外で焼肉するって日に雨が降れば躊躇せず室内でやる。元豚舎だからできる所業でもある。

ただ冬は、室内にいてもやけになるといふ現代ではあまり起こりそうにないことが起こっていることも事実なので、今後、何とかしていただければと心から思う。

活動面でどんなことをしているのかは、

インスタグラムで基本毎日発信しているの、そちらを見ていただきたい。「遊友やすくに」で検索していただければ写真や動画で状況がお伝えできる。フォロワーも増えれば、テンションもモチベーションも上がるので、是非是非お願ひしたい。

そんな利用者15名、職員4名で元気に活動している遊友やすくでは、しつこいほどにみんなの希望を聞き、なんとか叶えてあげられないかと日々模索している。行事の後には反省会があつて、次は何したいか聞いてみる。

年末年始には来年の目標なるものを各々作つて希望・要望・目標を貼り出したと思えば、今度は個別支援計画作成時も「なにしたい？」と聞く。

そんな中、「来年の目標」に2年連続で「ピザが食べたい」という希望がとある方から出た。2年は本気っぽいね。

ということ、ピザ窯購入は早速に！と要望してみたら、まさかの通過。ただし時は冬。管理者からは「冬は発酵しないだろ！」と言われた。管理者も乗り気。春頃、念願のピザ窯を購入し、月2でピザを焼くという暴挙に出た。まずはみんなで生地を作るところから始まった。まともに作れるのはカレーのみという我々が、いきなりピザを極め

る。月2回もしていればいつの間にかみんな捏ねるのが上手くなった。継続は力なりとはこのこと、窯の使い方も、後半は驚くほどに技術が上がり、最初の内は生焼け状態だったピザも、こんがり美味しく焼けるようになってしまった。利用者も職員も関係なく、みんなでピザについて学んだ半年。やると決めたらやるしかない！と毎回美味しいが更新するピザを作り、食べ続けた。そのうちチーズやら具をいろんな方からご寄贈いただいたし、実際食べに来てくれた方もいた。ピザを通しての交流もできた。



こねる



ピザ窯

「ピザが食べたい」というささやかな願いから始まったこの企画は、いろいろ巻き込みながら最終的に本気の納得いくピザに到達。大満足。達成した感じがすごい。ピザからの解放。もう結構飽きた。我々はやりぬいた。

そして昨年12月に出てきた来年の目標

「ピザが食べたい！」



完成！



トッピング

御芳志の御礼

令和七年七月一日から、十二月三十一日までの間に、次の多くの皆さまから、法人事業のため、または施設に入所あるいは利用している子どもや利用者のために役立ててほしいとの趣旨でご芳志をいただきました。

誌面を通じて厚くお礼を申し上げます。
(敬称略・順不同)

寄付金

《北光福祉会》

遠軽信用金庫 匿名希望(遠軽)
野田勅子(音更) 梅澤藍(常滑)

合計 270,000円

《北光学園》

米内山邦子 服部憲尚 橋本政司
青野シマ子 遠軽町社会福祉協議会 長谷川光夫 遠軽ロータリークラブ (有)遠軽清掃社 大久保綾子 浅利誠 (株)青池鉄工 遠軽信用金庫生田原支店 生田原老人クラブ 岩戸康征 遠軽町 遠軽青年会議所 大湧工業(有) 遠軽町共同募金会 遠軽町社会福祉協議会 (遠軽) (株)マステック 羽賀商店 清水水更生保護女性会(清水) 内竹薫(紋別) 長谷川準(美幌)

北海道共同募金会(札幌) 橋みみ子(旭川) 田中齋(弟子屈) 横瀬兼二 坂本健(東京) 匿名

合計 1,265,000円

《ひまわり学園》

アート美容室 遠軽ロータリークラブ 苗田建設(有)ウエノ (株)工藤電機 (有)遠軽清掃社 ひまわり学園配管更新等工事施工者 一同 千田嘉人 遠軽町社会福祉協議会 遠軽町共同募金会 佐藤恵子 遠軽町 酒井宏昭 山田雄輝 細野石油(株) 遠軽信用金庫 生田原支店 新山史賢 加藤政雄 松尾淳司 石丸博雄 安国中学校 特別支援部 大湧工業(有)(遠軽) (株)東伸(北見) 田中齋(弟子屈) 北海道共同募金会(札幌)

合計 285,000円

《向陽園》

六車潔 大辻祐一 アート美容室 小野寺映子 湯浅民子 苗田建設 (株)工藤電機 遠軽清掃社 米内山邦子 今泉郁夫 三浦敦史 酒井宏昭 佐藤恵子 長谷川光夫 (遠軽) 川地榮子 三品勲(湧別) 尾藤照明 飯田壮一(北見) 土門善弘(佐呂間) 田中齋(弟子屈)

合計 3,295,000円

《センターもね》

湯浅民子(遠軽)

合計 10,000円

《遊友やすくに》

小野寺映子(遠軽) 三品勲(湧別)

合計 110,000円

《遊友ほたる》

小野寺映子(遠軽)

合計 10,000円

寄贈品・ボランティア

《北光福祉会》

茶木建設(株) 北見トヨペット(株) むすびや 新山史賢 松原洋一(遠軽) 中川哲夫(湧別) 飯田壮一(北見) 福祉ファミリー(札幌)

《北光学園》

山口弘子 花岡美和 西原勝義 柴田敦 遠軽町役場 山本峯久 小山田久美 橋本政司 木村よし のり 曾我部由起子 高岡秀一 (株)生田原振興公社 ノルディック ファーム 木村吉里 (株)青池鉄工 高橋淳 田中メガネ店 自衛隊曹友会 救世軍遠軽小隊 原富美雄 亀田商店 ぼっぽ家 生田原神社 菅野由美子 大泉勝義 片平工房 タニシマめがね・時計店 (遠軽) 瀬川蓮 中平祥司 北見トヨペット(株) 森良子 JA と(福岡)

L 岩崎知美 北洋銀行北見中央支店 北海道コカコーラボトリン

G(株) 北見藤高等学校 長谷川育子 原田典朗 長谷恰美音(北見)

田中雄一(訓子府) 原田小百合 鈴木あさみ (株)ながさわ(美幌) 中川哲夫(湧別) 小林則子

町 佐藤果樹園(増毛) 山口果鈴(釧路) 平田実(深川) 生活協同組合コープさっぽろ 久保淳

POP CORN CAFE 羊ヶ丘 養護園 北海道ぎよれん フレッツ

ドカフマン (株)セコマ 松田八郎 Thomas Goetz(札幌)

(株)ホクビー(石狩) 鳥浜えり子(江別) 高津ひろみ(北広島) 佐藤敬子(豊富) 柏倉正 米内山

楓 米内山泰政(函館) (株)ファーストリテイリング 松村安修 横

瀬兼二 絵本作家祐彩 (株)フレール館 全国シヤンメリー協同組

合(公財) 毎日新聞東京社会事業団 門司一徹 久保友樹毅 坂

本健(東京) 吉成智子(入間) 日本鏡餅組合(新潟) 実祝プラン

ニング(伊丹) 二俣正光(流山) 田中憲一(名古屋) 村松悦子(日

進) 吉田明香(倉敷) ほっともつ

と(福岡)

救世軍遠軽小隊(遠軽) フレッツ

ド・カフマン(札幌) 佐藤善一(増毛)

《ひまわり学園》

大湧工業(有) 細野石油(株) 北見トヨペット(株) 遠軽ライオンズクラブ 小山広明 上林藍 本田典子 宮本葉津美 安国神社 鈴木富美枝 紋別養護学校ひまわり学園分校 あづま損害保険事務所 茶木建設(株) 小関明美 遠軽自衛隊曹友会・修親会 ネットトヨタ北見(株) 遠軽店 佐藤商店 田中眼鏡店 柏葉敬輔 谷千洋 イト電商事(株) 秦野商店 向陽園 小西商店 伊藤隼太 石川敏文 中原稔(遠軽) 中川哲夫 齋藤千香子(湧別) 永井春美 森谷可奈子 森谷権三 北海道コカ・コーラボトリング(株) るべしべ光星苑 るべしべやよい苑(北見) 新鞍さゆり(美幌) 石井宏和(大空) 金井麻湖(訓子府) 広島真美(紋別) 山本秀勝 柿崎有美 北海道療育園(旭川) 葛西安奈 コドモックル 松本美春 石橋志穂美(株) アイコーマート(札幌) 忍美佳(江別) 田中佑歩(帯広) しりべし学園(黒松内) 堀健一(阪南)

エンパワメントみやざき(鹿児島)
たつたつ(沖縄)
ポランティア

耕自 小林由美 中原由紀子 大
累悟 加藤キクエ(遠軽) 三品茂
美(湧別)

江 村松真希 井上華江美 後藤
正則 堂前久美子(遠軽) 金内
ヨシエ(湧別) 川森修二 丸山守
八木沼稔子 国奥順一 佐藤良子
阿部美代子(北見) 楠目広志(美
幌) 菱木富美子(斜里) 岩本静
夫(札幌) 佐久間かつ子(石狩)
白川弘行(函館) 大場玲子(さ
いたま)

後援会だより

北光学園後援会

令和七年七月一日から、十二月
三十一日までの間に、北光学園後援
会に、次の皆さまからご協力をいた
だきました。誌面を通じて厚くお
礼を申し上げます。(敬称略・順不
同)

(札幌) 窪内恭子(小樽) 家村昭
矩(名寄) 肥後剛(埼玉)

合計 585,000円

ひまわりの里後援会

令和七年七月一日から、十二月
三十一日までの間に、ひまわりの里
後援会に次の皆さまから、ご協力
をいただきました。誌面を通じて厚
くお礼を申し上げます。

(敬称略・順不同)

本田典子 遠軽高校ボランティア
部 保科浩則 保科通子 黒川正
史 木下敬裕 田村文字 中尾一
也 北海道紋別養護学校ひまわり
学園分校教員一同 鏡栄子(遠軽)
井田みのり(北見)

湯浅民子 千葉美佐世 佐藤巨
工藤洋一 安西貴美子(遠軽) 廣
島真美(紋別) 楠目広志(美幌)
菱木富美子(斜里)

温森栄子 横井サツ子 鐘ヶ江美
由紀(遠軽)

大湧工業(有) イトデン商事(株) 細
野石油(株) 安国神社総務会 藤岡
照久 石川セツ子 縄陸博 佐藤
富枝 小林幾子 黒瀧久子(遠軽)
中川哲夫 川地榮子(湧別) 飯
田壮一 尾藤照明(北見) 土門善
弘 遠藤芳枝(佐呂間) 馬場洋
子(訓子府) 島田和男 滝口貞
子 水野知一郎(紋別) 西澤利秀
(大空) 齊藤久恵(新得) 後藤
正弘(土幌) 途中政和 井村武
夫 鍋田正勝(札幌) 三澤勝(東
神楽) 大澤潤子(剣淵) 永田叙
子(東京)

徳田輝幸 Free(遠軽) 八木
沼稔子(北見)

河原田ゆい 近江安香里 黒川紀
子 松原蒼依 佐藤直美 松尾淳
司 亀屋奈月 佐藤亘 伊藤美香
(遠軽)

《向陽園》

《サン・コロネ》

《ぱれっと遠軽》

《遊友やすくに》

《ほめい》

《集めろまつか》

温森幸治 梶田伸男 伊藤美千
子 粕谷さつ子 山岸文夫 坂本
宣男 浅井宏實 小野寺映子 今
井百里子 片岡正 佐藤亘 飛澤
文字 工藤克哉 松尾弘枝 坂東

福田進 我妻香苗 柏谷貴文 藤
井産業 鈴木恵美 井之口千栄
花山幸子 千葉美佐世 岡田正子
(遠軽) 廣島真美 白田和博(紋
別) 森岡陽子(滝上) 石川セツ
子(北見) 内海恵子(網走) 森
田孝俊(別海) 黒川京子 秋保
恵治 赤間尚美(札幌) 加藤政
伸(苫小牧)

湧別町社会福祉協議会
ボランティア

内野郁子 佐藤昌生 長岡春三
樋口順子 堂前正雄 今井美香
佐藤ゆかり 佐藤利江 榎本英
雄 幕田昭義 角谷房代 堂前光

ひまわり学園学園ではウエース
になる布を集めています。古い布
地をお届けください。

山邦子 安藤達 安藤いづみ 青
山葉子 佐藤由美子 米内山英
恵 早川友美子 丸山香菜 日野
明美 高戸英子 岡田栄子 米内
山仁(遠軽) 河野美香 石澤信勝
後藤哲也 石澤勝志(美幌) 佐野
琢(湧別) 佐々木正俊(小清水)
北新サッシ(株) 小西工業(株) 富
田通商 小柳亭信(北見) 星屋泰
賢(土幌) 友重崇憲(旭川) 四
釜剛(恵庭) 堀田里佳 湯浅匠司

合計 780,000円

書き損じはがき・ベルマーク
楠目広志(美幌町)

湯浅民子 工藤克哉 本田 典子
西原弘 佐藤恵子 大杉潔 名雪
美加 江刺理恵子(遠軽) 岳上光
雄(湧別) 丸山守 今本勲(北見)
楠目広志(美幌) 内海恵子(網走
市) 星屋睦子(土幌) 森田孝俊
(別海) 黒川京子 長田わか子(札
幌)



セコマのサンタさんがクリスマスケーキを届けてくれました。

お薦めの本

『玉三郎の「風を得て」』

真山 仁

文藝春秋社



昨年7月、映画『国宝』を観た。上方歌舞伎名門の花井半次郎に引き取られ、歌舞伎の世界に飛び込んだ喜久雄。40年間、激動の中で生き抜きながら、世界でただ一人の存在になっていく。養子そして国宝へと…3時間余りの映画を見終わったときに、私の前に坂東玉三郎が姿を現した。

稀代の女形の姿、5代目坂東玉三郎とは何者なのか？小説家真山仁は、30年間の長きにわたり、玉三郎に会い、話を聞き続けてきた。それはなぜなのか、また、なぜ玉三郎がここまで長く付き合ってくれたのかも謎だという。会うと雑談が始まり、やがて互いの魂が触れるような言葉が行き交う。そんな魂同士の“会話”があったからこそ、本書が生まれたという。

真山さんは「敬愛する人物の生き様の片鱗を今の時代に刻んでおきたい」と言ったが、彼（玉三郎）は快諾しなかったし、今でもうれしくないと言う。玉三郎の芸術観に大きな影響を与えた世阿弥の『花伝書』に記されているように、芸の神髄である「花」は秘してこそ「花」となるから、と。しかし、今こそ語る時だと真山さんは言う。

玉三郎は1歳の時、急性灰白髄炎、ポリオに感染し、足に障害が残った。両親はリハビリを日本舞踊に賭けた。この時、シンイチ（幼名）が日本舞踊を始めていなければ坂東玉三郎は誕生しなかったであろう。この著書を読み、玉三郎の現代や人への考えを私は紹介したいのだが、そうすると、いたるところに付箋がつき、紹介文にするには不可能に近い。

私は、落語『中村仲蔵』で歌舞伎に興味を持ち、真山仁の『ハゲタカ』を読み、玉三郎の言動や考えが『星の王子様』に重なることが多いということを知っていたこと。それがこの本を手にとった理由である。（理事 新山 史賢 記）

後援会ご協力をお願い

お一人でも多くの方のご支援やご協力を望んでおります。お志のある方、下記へご連絡ください。

○北光学園後援会

☎0158-45-2233 (北光学園)

○ひまわりの里後援会

☎0158-46-2020 (ひまわり学園)

☎0158-46-2525 (向陽園)



向陽園利用者の作品展

遠軽信用金庫丸瀬布支店で開催中。2月12日までです。



社会福祉法人 北光福祉会

〒099-0622

北海道紋別郡遠軽町生田原安国302番地7

☎0158 (46) 2120・FAX 0158 (46) 2080

H P : <http://www.hokko-fukushi.or.jp/office/>

E-mail : office@hokko-fukushi.or.jp

- 児童養護施設 北光学園 ☎0158-45-2233・FAX45-2041
地域小規模児童養護施設 きずなホーム ☎0158-45-2206
- 児童家庭支援センター 子ども家庭支援センターオホーツク
☎0158-45-3211
- 障害児入所施設 ひまわり学園 ☎0158-46-2020・FAX46-2080
- 障害者支援施設 向陽園 ☎0158-46-2525・FAX46-2277
- 地域生活支援事務所 パオ ☎0158-46-2120・FAX46-2080
パオ遠軽 ☎0158-42-3811・FAX 46-3384
- 共同生活援助事業 ゆめいく (7ヶ所) 燦ホーム (7ヶ所)
- 生活介護事業所
遊友やすくに ☎0158-46-2277 遊友えんがる ☎0158-42-3389
センターもね ☎0158-42-3720 スペースもね ☎0158-46-2120
- 就労継続支援B型事業所
遊友ほたる ☎0158-46-2460 サン・コロネ ☎0158-46-7077
- 児童発達支援・放課後等デイ ぱすてる ☎01586-8-7300
くれよん ☎0158-46-2588 めるくる ☎01587-6-7510
- 居宅介護事業所 ぱれっと遠軽 ☎0158-42-3811
- 相談支援事業 ま〜ぶる ☎0158-46-3383

あとながき

朝の6時半過ぎ、愛犬と散歩に出かけます。除雪の行き届いた雪道は歩きやすく、靴底ではギュッギュッとリズムを刻んでくれます。晴れた日は、東の空がオレンジに染まると、西の空や雪山がピンクに染まります。陽が昇る前のほんのいつきののですが、その美しさは感動ものです。

吐く息が白く、寒さで顔が痛くなり、睫毛がくっつくこともあります。『寒さは財産』と言われた海辺の町の町長さんの言葉を思い出し、ああ、私たちの地球は大丈夫かもしれない、と安堵がわくのです。四季の循環が損なわれず、生きとし生けるものが健やかであってほしいと心から念じます。

アフターケアの意味合いも含めたひまわり学園の「卒園生の集い」。費用は全額自己負担で、新しい家族や、保護者や職員と一緒に人もいました。参加した人はある意味、恵まれた人と言えるかもしれませんが。一部とはいえ、卒園後にたくましく生き抜く彼らとこうして相まみえ、ひとときを過ごすことができたことは大きな喜びでした。

来られない人もいるし、社会のはざまで苦境に陥りかねない人もいるでしょう。手の届かないそうした人たちの無事と安寧を心から祈りたいと思います。

(湯浅記)